

「祈りの武器 2」

祈りのシリーズ②
エペソ 6:10～18

祈りの戦士は、戦いの最前線の地上で戦う勇者です。相手は神に敵する悪魔です。

先頭は、先に学んだモーセやエリヤそして、主の弟子たちです。彼らの祈りはどんな迫害や困難の中でも、常に勇気と勝利をもたらしました。それは、神様の絶大な力を祈りによって引き出すことができたからです。

神様は 2024 年を生きる私たちが、その後続く祈りの戦士になることを期待しておられ、招いて下さっています。

今日の聖書の学びの要点

- ・悪魔との戦いの武具は信仰によって用いることが出来ます。
私たちがどのような処から救われたのか、いつも覚え、感謝し、この恵みをもって主の証し人にならせていただきましょう。

I、平和の福音の備え

1、エペソ 6：15 を読みましょう。「足」、「平和の福音」とは何を示しているのでしょうか。

- ①「足」… 私たちの行動を現しています。
- ②「平和の福音の備え」を靴としてはく…福音によって、心に平安が与えられたことを、動き回って伝えること。

2、「平和の福音の備え」とはどのような意味があるのでしょうか。

- ①エペソ 2:13～18 には、私たちの心に平和が与えられる理由があります。
 - ・異邦人で罪の中にいた
 - ・十字架により敵意を破棄して下さった。
 - ・十字架によって神様と和解させて頂いた。
 - ・御霊によって、父なる神様に近づくことが出来る…天の御国に入る備え

Ⅱ、信仰の大楯

1、「信仰の大楯」とはどのようなことでしょうか。

①「大楯」で消さなければならないものは、どのようなものでしょうか。

・悪魔が放つ火矢… 私たちの弱点、過去の失敗など肉の部分を巧みに指摘する

②大楯がない場合… 他人から弱点を指摘されると、冷静さを失ってしまう。

自己弁護だけでなく、相手を同じ火矢で攻撃してしまう。

2、この大楯とは信仰の大楯です。火矢によって悪魔に攻められるとき、信仰の原点がハッキリしていることが重要です。

①信仰の原点とは、恵みによって救われた事実です。（エペソ 2：8、1 テモテ 1:15）

②小盾ではいけない… 火矢を放つ人が見えてしまう。

Ⅲ、御霊の与える剣

1、エペソ 6：17 を読みましょう。

唯一の攻撃の武器は神のことばです。

①イエス様の見本をみましょう。（マタイ 4：2～11）

・神のみことばには権威と力があります。

②攻撃の武器であるみことばは、内に御霊が働かれるとき力が発揮される。

・「御霊の与える剣」は御霊に支配していただき、効力が発揮できる。

（ルカ 12：11～12）